



令和7年10月31日
11月号 No.481
発行責任者
校長 西村 学徳
所在地 福生市熊川623

全力・本気はかっこいい！

校長 西村 学徳

今年度の運動会は、天候に悩まされることもありましたが、10月28日（火）に秋晴れの空の下、紅組388点VS白組389点という大接戦で、大い盛り上がった運動会となりました。平日開催にもかかわらず多くの保護者の皆様や地域の皆様にご参観いただき、子供たちに温かい拍手とご声援をいただきましたこと、また、円滑な運営に向け、PTA役員の皆様やCS委員の皆様に多大なるお力添えをいただいたこと、心より御礼申し上げます。



さて、タイトルの「全力・本気はかっこいい！」は、10月初めの全校朝会の校長講話での言葉です。話の中で子供たちには「ぜひ、今回の運動会で全力で取り組むこと、本気で取り組むことを大事にして、かっこいい姿をたくさん見せてほしい」と伝えてきました。全力・本気で取り組むからこそ得られるものは、たくさんあります。その中でも、子供たちには運動会の取組を通して、「やり切った！」「できた！」という達成感や充実感を思い切り味わい、自分への自信を深めてほしいとの思いがありました。

今回の運動会を振り返ると、子供たちの輝いていた姿がたくさん思い出されます。旗を大きく振り、生き生きと踊っていた低学年、エイサーの優雅さとダイナミックさを見事に表現した中学年、仲間を信頼し支え合いながら一つ一つの技を創り上げた高学年。徒競走、応援合戦、選抜リレー、全校競技でも力一杯に取り組む姿が見られました。競技を終え、退場するときの子供たちの表情は、達成感に溢れた表情で、見ていたこちらも大きな感動をもらいました。



1点差の負けに悔しさをあらわにしていた子もいましたが、それも全力・本気で取り組んだこの姿です。そんな姿を見ていて、数年前のTV番組で陸上オリンピアンの末續慎吾選手が指導した子供たちに掛けていた言葉を思い出しました。「『悔しい』思いをしたよね。でも『悔しい』という気持ちを、私からは教えられないんだよ。自分で感じるものだから。」今回悔しい思いをした子供たちも、この経験でまた一つ心が大きく成長したのではないかと思っています。そして、「全力・本気はかっこいい」の言葉を、まさに体現してくれた二小の子供たちには、改めて大きな拍手を送りたいと思います。



全力・本気だったのは、子供たちだけではありません。運動会当日の朝、各教室を回ってみると、どの学級も黒板にびっしりと担任からの子供たちへの熱いメッセージや素敵なお絵かきアートがかかっていました。最後の最後まで子供たちを励まし、子供たちの成長のために力を尽くす本校の教員の姿にも胸が熱くなり、そして、誇りに思いました。11月は音楽会があります。引き続き教職員一丸となり、保護者の皆様、地域の皆様と手を取り合って、子供たちの成長を支えていきたいと思います。